

三重の姿・かたち

2012年度版

(ご協力ありがとうございます)

- ・4月中旬/第5回憲法キャラバン事前アンケートを送付(①防災 ②原発再稼働 ③TPP)
- ・5月中旬/事前アンケート結果を集計。30自治体へ結果報告と懇談の依頼
- ・5月末~6月/30自治体と懇談。第8回自治体アンケート、病院、第2回教育アンケートを手渡しして依頼
- ・7月末~8月/回答結果を集計。9月初/集計表を送付し再点検。懇談の依頼
- ・9月末~10月/「三重の姿かたち2012年度版」で30自治体・17病院と懇談予定

春の憲法キャラバン5回、秋の自治体懇談8回、17自治体病院との懇談4回目。首長さん、院長さんはじめ多くのみなさまとお会いしました。共通項は、憲法を行政にいかすためにお送りした「事前アンケート」と「その結果での懇談」です。うれしいのは「予算要求の参考に」との声です。憲法を行政に生かし、住民生活の向上につながればと願います。

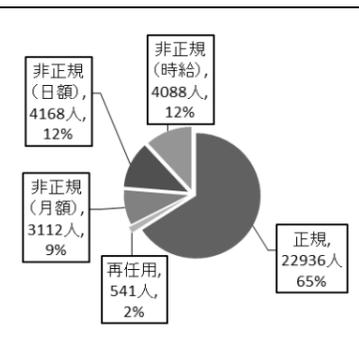
今回は、市町村合併直後との比較(Ⅱ-⑤)、リーマンショック後との比較(Ⅳ-④~⑧)も掲載しました。

〒514-0015 津市寿町7-50 Tel 059-223-2615

Eメール: mieroren@circus.ocn.ne.jp

I 自治体で働く職員の状況

①雇用の状況



②自治体雇用者総数

H23年度: 34,758人
 H24年度: 34,844人
 うち女性 18,239人 (52.3%)
 非正規率(再任用含)
 H23年度: 11,709人 (33.7%)
 H24年度: 11,909人 (34.2%)
 うち女性 9,356人 (78.6%)

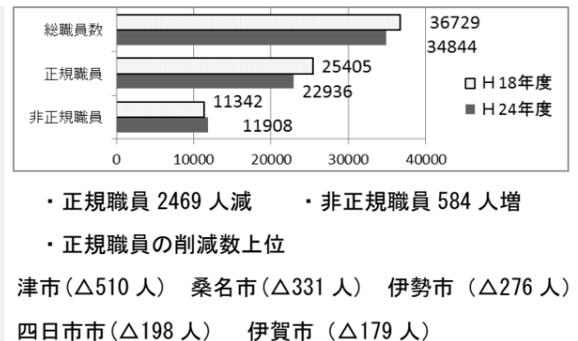
③非正規率ランキング

- 1、川越町 57.8%
 - 2、紀宝町 54.9%
 - 3、明和町 53.2%
 - 4、菰野町 50.7%
- 40%台 5市町
 30%台 17市町
 30%未満 3市町と県

④障害者法定雇用率(2.1%)

・未達成の市町
 木曾岬、菰野、朝日、
 鈴鹿、伊賀、多気、
 大台、伊勢、鳥羽、
 志摩、玉城、南伊勢、
 大紀、御浜、紀宝、
 計 15自治体
 (前年度 19自治体)

⑤合併後の職員数比較 (H18: H24年度)



Ⅲ 正規職員の状況

①時間外労働の実態は

昨年1年間延べ人数(過労死ラインを約3000人が超える)

- ・月80時間以上 20自治体 781人
- ・月100時間以上 18自治体 498人
- ・紀宝町 台風12号のため100時間以上(多数)
- ・三重県 80時間・100時間で1025人

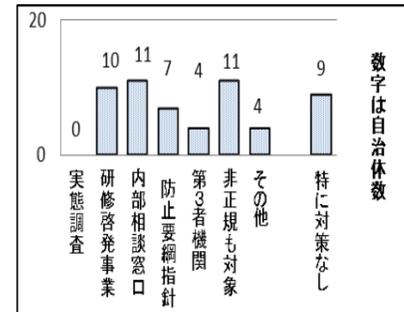
(厚生省の過労死認定基準は「発症前1月100時間、6ヶ月平均80時間」)

②メンタルヘルスの実態と対策

(休む原因)
 ・精神、行動障害 239人
 前年度 221人

(メンタルの対策)
 ・具体的対策あり 16自治体
 ・特になし 2自治体
 ・記述なし 14自治体

③セクハラ・パワハラ対策



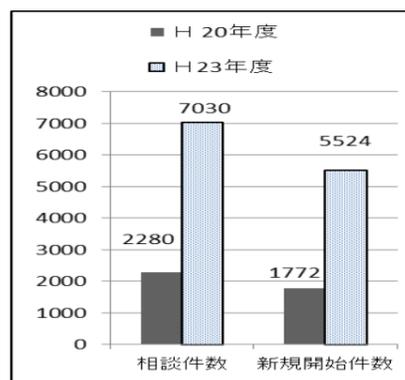
Ⅳ リーマンショックその後

④保健師は (H21→H24年度)

正規 445→504 嘱託 9→4
 臨時 11→24 計 465→529

・保健師1人当たりの人口
 1000人台 4市町、2000人台 9市町
 3000人台 4市町、4000人台 6市町
 伊勢市 5312人、桑名市 5855人
 鈴鹿市 6839人、四日市市 9305人

⑤生活保護の件数は

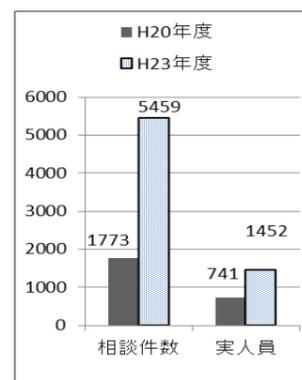


⑥ケースワーカーの受持数比較と増減数は (*増員予定)

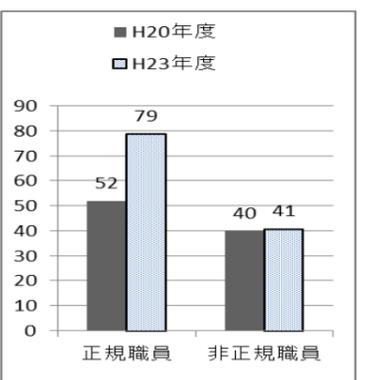
《配置標準数: 市80世帯、県65世帯》 ()内H20年度

津市	105.7世帯(121)	+3*	亀山市	77.5世帯(60)	
四日市市	98.9世帯(101)	+4*	鈴鹿市	73.0世帯(72.7)	+3
松阪市	98.7世帯(97.3)	+5*	熊野市	65.3世帯(95)	+1
志摩市	90.4世帯(73.2)		尾鷲市	60.0世帯(71)	
伊勢市	82.1世帯(79.7)	+1	多気町	55.0世帯	
桑名市	80.0世帯(96.0)	+3	鳥羽市	45.0世帯(66)	
名張市	80.0世帯(62.8)		いなべ市	36.0世帯(35)	+1
伊賀市	79.7世帯(86.1)		三重県	67.5世帯(68.6)	-2

⑦児童虐待の件数は

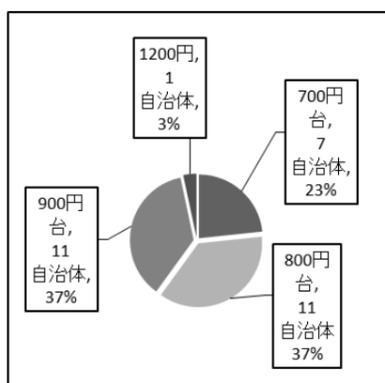


⑧担当職員数は



Ⅴ 非正規職員とワーキングプア

①臨時事務職の時給(一時金含)



②今すぐ800円台に

伊賀市	730円 (811~908)
明和町	748円 (807~912)
鈴鹿市	750円 (818~890)
津市	765円 (861~940)
四日市市	770円 (830~904)
松阪市	780円 (795~883)
朝日町	784円 (830~904)

(下限~上限)内はハローワーク時給
 三重県最賃 724円(前年より7円アップ)

③事務職臨時の推定年収

1位	鈴鹿市	827,400円
2位	四日市市	1,193,500円
3位	亀山市	1,260,000円
4位	津市	1,280,000円
5位	伊賀市	1,300,000円
6位	明和町	1,460,000円

・全自治体が年収200万未満

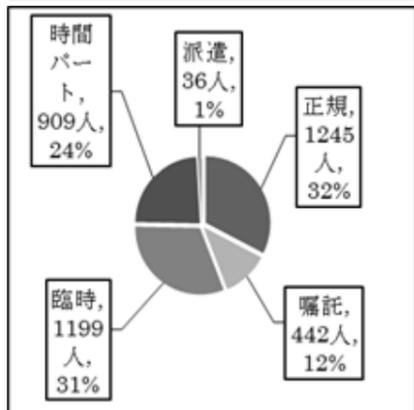
④臨時職員の特別休暇付与は大きく改善(数字は自治体数)

2009年度(H20年度)							2012年度(H24年度)										
夏季休暇	忌引き	病欠	結婚	子供の看護	産前産後	育児	介護	夏季休暇	忌引き	病欠	結婚	子供の看護	産前産後	育児	介護		
6	11	0	3	2	1	4	1	0	15	20	15	4	10	12	12	9	8

・特別休暇なしの自治体
 東員町、鈴鹿市、伊賀市、志摩市、御浜町、紀宝町

・夏季休暇のみ 熊野市
 ・忌引き休暇のみ 四日市市、名張市

⑤保育士の雇用状況



⑥臨時保育士の時給(一時金含)

〈定額〉
 800円台 紀宝町、玉城町、南伊勢
 900円台 木曾岬町、朝日町、鈴鹿市、大紀町
 1000円台 川越町、志摩市、四日市市、大台町、御浜町、熊野市 津市
 1100円台 名張市、伊賀市
 1200円台 松阪市

〈加算あり〉
 ・明和町 1026円・1056円
 ・菰野町 993円~1264円
 ・東員町 993円~1271円
 ・桑名市 1050円・1090円
 ・名張市 1100円・1300円
 ・多気町 1080円~1165円
 ・亀山市 1150円~1300円
 ・いなべ市 1130円~1260円
 ・度会町 1300円(2年後、条件満たせば嘱託へ)

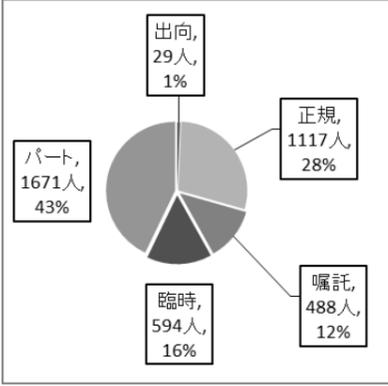
⑦嘱託保育士の月額賃金

・嘱託制度あり 15自治体
 <○印 加算あり>
 15万円未満 ○紀宝町、○鳥羽市、○木曾岬町 紀北町
 15万円台 ○朝日町、鈴鹿市
 16万円台 桑名市、川越町
 17万円台 ○伊勢市、玉城町、四日市市
 18万円台 度会町、松阪市
 20万円以上 ○菰野町、○御浜町

・嘱託制度なし 13自治体

VI 公務公共職場もワーキングプア

(1) 社会福祉協議会 ①雇用状況

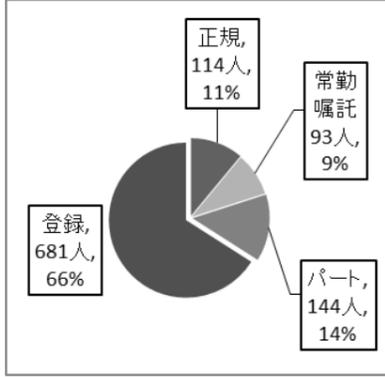


①非正規率ランキング

1位	四日市市	84.0%
2位	尾鷲市	83.2%
3位	熊野市	82.9%
4位	亀山市	82.8%
5位	紀宝町	81.5%
6位	伊勢市	81.2%

非正規率80%以上の社協

③ヘルパーの雇用状況



④ヘルパーの時給

<パート>

800円台	大紀町、明和町、御浜町、玉城町、度会町
900円台	熊野市
1100円台	鈴鹿市
1200円台	志摩市
1300円台	四日市市

<登録>

800円未満	鈴鹿市、熊野市
900円台	尾鷲市、南伊勢町
1000円台	木曾岬町、津市、明和町、大台町、川越町
1100円台	桑名市、亀山市、大紀町、御浜町、朝日町、松阪市
1200円台	伊勢市、伊賀市、度会町
1300円台	鳥羽市

(2) 学童保育 ①自治体が把握している時給 (箇所数と利用者数)

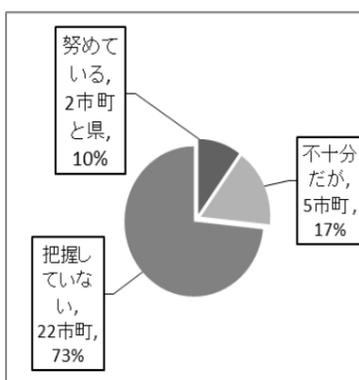
・主に公設公営 (11ヶ所 388人) ・主に公設民営 (156ヶ所 5837人)

◎玉城町	825~965円	◎名張市	900円	大紀町	858円
◎度会町	1200~1300円	◎明和町	800円	木曾岬町	
◎多気町	870~1080円	◎御浜町		鈴鹿市	
志摩市	880円	◎紀宝町		亀山市	
◎社会保険・健康保険あり		○東員町	1000円	津市	
○一部あり (どちらか)		○朝日町	830円	伊賀市	
・「金額なし」は、把握していない		○松阪市		大台町	
		○尾鷲市			

・主に民設民営 (105ヶ所 3054人)

◎桑名市	780~1100円
◎熊野市	726円
◎伊勢市	
○鳥羽市	800円
○川越町	830円
○菟野町	705~800円
○いなべ市	四日市市
南伊勢町	紀北町

(3) 障害者施設 ①状況把握

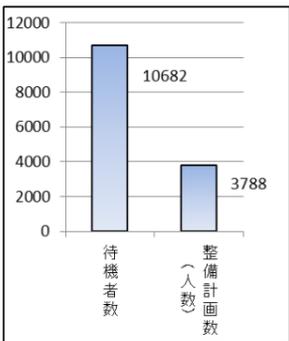


②自治体の独自支援

- ・施設等利用者の負担軽減 10市町
- ・指定施設等への運営の助成 東員町、朝日町、多気町
- ・その他の領域での独自施策 桑名市 いなべ市、四日市市、鈴鹿市、伊賀市、玉城町、南伊勢町、紀北町

(4) 介護保険

①特養入居待機数と計画



(市町計は 7758)

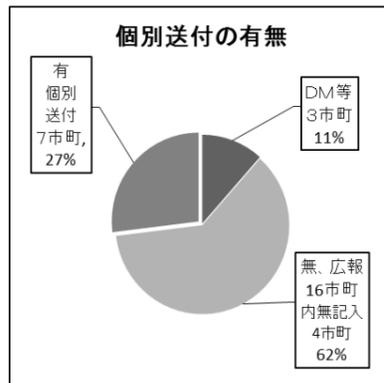
②介護保険滞納者数

1年以上 8192人
一度でも 6810人

③給付制限者数

161人

④障害者控除にかかる認定書発行

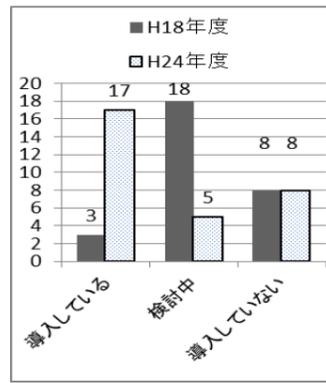


「個別送付あり」の市町

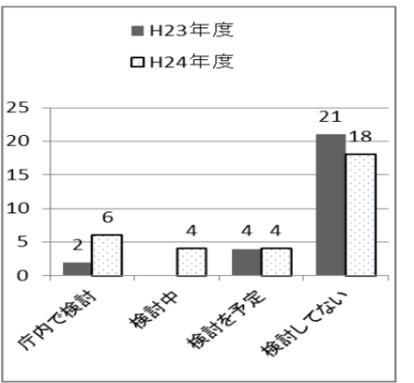
- 桑名市
- いなべ市
- 東員町
- 四日市市
- 菟野町
- 亀山市
- 伊賀市

VII 総合評価方式と公契約条例

①総合評価方式の導入



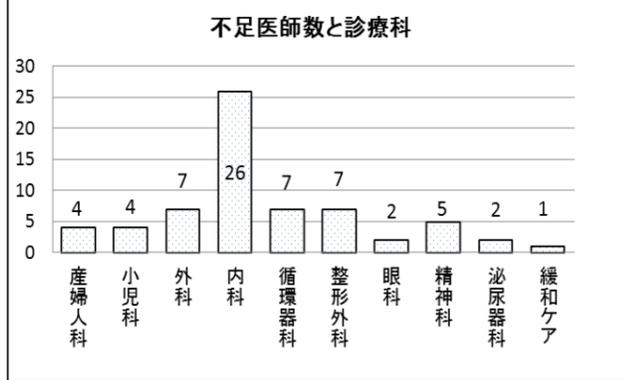
②公契約条例の検討状況



VIII 医師、看護師不足は (県立志摩病院は依頼中のため、後日集計予定)

① 医師不足

- ・現在の医師数 469人
- ・不足医師数と診療科 10診療科 65人
- ・医師不足の対策を取った病院 13病院 (17病院中)



②救急医療の制限

- ・名張市民病院
- ・市立伊勢総合病院
- ・玉城病院
- ・町立南伊勢病院

③看護師不足

- ・現在の看護師数 2459人
- ・不足看護師数 180人
- ・看護師不足の対策を取った病院 13病院 (17病院中)

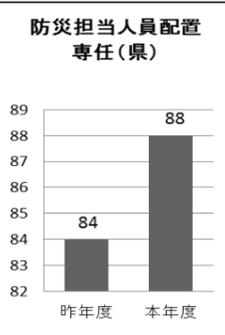
④看護師不足による影響

- ・病床の削減 桑名西医療センター 234→156
- ・亀山市立医療センター 100→60
- ・町立南伊勢病院 76→33
- ・病棟の閉鎖 伊賀市立上野総合市民病院、松阪市民病院、市立伊勢総合病院、町立南伊勢病院
- ・救急医療の制限 市立伊勢総合病院
- ・病床稼働率の低下 市立四日市病院

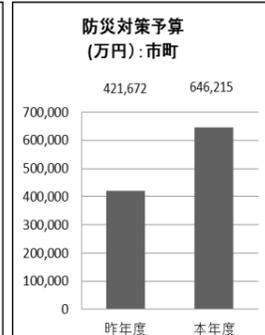
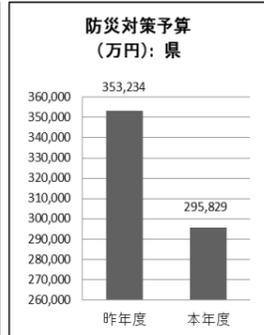
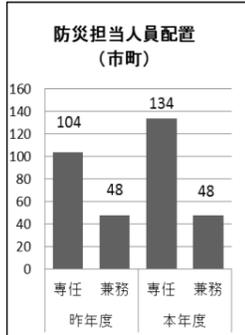
IX 三重の安全安心

(春の第5回憲法キャラバン「事前アンケート結果」から)

① 人員配置は (前年より 34人増)



② 予算は 22%増 (市町 53%増)



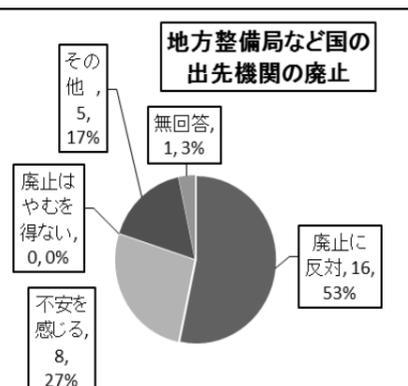
③南海トラフ巨大地震は、「数分で津波 20m超」との想定

《太平洋沿岸の9市町/防災対策のポイントの上位4項目》



④国の地方整備局の廃止は

- ・80% (24市町) が「反対・不安」
- ・「地方を守る会」加入の首長さんががんばりましょう
- ・原発再稼働「必要性は0人」
- ・TPP参加の影響は



⑤全首長にお聞きしました

